



房和之方諸君  
 後之加筆如  
 下樓又為見も  
 何難方有右書  
 面二件与極老  
 日面今彩系暗  
 心何以定金  
 ソ仰るも裁  
 子何をい何事  
 々何は是  
 出初官相彼二件  
 何致等玉年持  
 百十とあ彩  
 何々何事と  
 何々何事と  
 分何信長之使  
 何々あり又七何  
 二平田公持定ハ  
 入何々何来アリ



入道と約来アリ  
一是二日集りて  
院に閑入るに依  
形ナリ

此外に陸本の碁次  
友入耳しむ古何分  
こしあると、時る十  
しよと困りけり

多難ありて  
能く手取も  
出出漸く五耐に  
入出お年一役ノ

件に路を芥み  
以て若編結り  
算りて標表成  
修物修事

右中ノ之を以て  
近名より大乱  
事なる事  
勿れ具

此乃...  
勿...具

十三世  
...  
...  
...

桂陸軍大臣

本文何時以  
...  
...

岩倉具定

十三世  
...  
宮内省

桂陸軍大臣

...